

I 活動概要

1. 目的

当研究所は、ジャーナリズム・政策に関する総合的研究をおし進めるとともに、メディア・コミュニケーション関連企業への就職を希望する本学学生を対象に特別指導を行うことを目的としている。以下、2018～2020年度の当研究所の活動を、1) 教育活動、2) 研究活動、の二部門にわけて、各部門ごとにその概略を記録する。

2. 教育活動について

(i) 当研究所研修部において、設置されている講座は下記の一覧表の通りであり、学年別に段階的学習が行われるよう配慮がなされている。

なお、時間割は、大学学部授業時間を考慮して設置されている。

(ii) このほか、研修部の教育活動としては、研修合宿（年2回）および、マスコミ各方面における現場の見学が行われている。研修合宿、見学ともに、当研究所の指導スタッフの参加をいただき、その道の最前線にたつ人々の積極的支持、指導を得て行われている。

(iii) 当研究所はこれまで折に触れてマスコミ関係、あるいは必要と思われる関連分野から人材を得て講演会等を計画・開催してきたが、現在、研

2 I 活動概要

2018年度ジャーナリズム・政策研究所時間割

	3時限 (13:00～14:20)	4時限 (14:50～16:10)	5時限 (16:30～17:50)	6時限 (18:00～19:20)
火			【時事コラムの楽しみ方】 桑原 聡	
水		【ドキュメンタリーは こうして生まれる】 須磨 章	【デジタル時代の新聞 ジャーナリズム】 向井 貴之	
木				【出版社の現場から 一本づくりの舞台裏】 下平尾 直
金	【商品とマーケティング —ヒット商品が生まれた わけ—】 坂本 律行	【体験的ジャーナリズム論】 山田 克	【メディアリテラシー向上講座 ～事例で探るメディアの ウソとホント～】 玉手 義朗 ※前期のみ	

(開講期間) 前期講義 5月22日～7月20日
後期講義 9月18日～11月16日
(教 場) 深沢校舎 講義室2-1

2019年度ジャーナリズム・政策研究所時間割

	3時限 (13:00～14:20)	4時限 (14:50～16:10)	5時限 (16:30～17:50)	6時限 (18:00～19:20)
火			【出版社の現場から 一本づくりの舞台裏】 下平尾 直	
水	【日経論説講座 上・下期】 日経論説委員、編集委員	【体験的ジャーナリズム論】 山田 克	【デジタル時代の新聞 ジャーナリズム】 向井 貴之	
木		【商品とマーケティング —商品はこうして 生まれる—】 坂本 律行	【時事コラムの舞台裏】 桑原 聡	【メディアリテラシー向上講座 ～事例で探るメディアの ウソとホント～】 玉手 義朗 ※前期のみ
金				【ドキュメンタリーはこう して生まれるII～テレビ よ！お前はただの現在 ではない～】 新山 賢治

(開講期間) 前期講義 5月21日～7月19日
後期講義 9月17日～11月15日、19日、26日
(教 場) 深沢校舎 講義室2-1

2020年度ジャーナリズム・政策研究所時間割

	1時限 (14:50～16:10)	2時限 (16:30～17:50)	3時限 (18:00～19:20)
火		【マーケティング調査から始まる ーそして商品が生まれるー】 坂本 律行	
水			
木	【この世界、そしてニュースの見方】 桑原 聡	【メディアリテラシー向上講座 ～実例で探るメディアの ウソとホント～】 玉手 義朗 ※前期のみ 【読む・書く・話す・理解し考える ー新聞記事を活用し就活を視野に 入れたトレーニング】 真下 聡 ※後期のみ	【出版社の現場から】 下平尾 直
金		【日経論説講座 上・下期】 日経論説委員、編集委員	【こうしてドキュメンタリーは創ら れる～悪戦苦闘する制作現場】 新山 賢治

(開講期間) 前期講義 5月26日～7月24日
後期講義 9月15日～11月20日

(教 場) オンラインにて開講

修部所属学生の質的向上をはかるため、通常のカリキュラムに加えて、特別講義の開催を試みている。講師は研究部指導スタッフから得られる場合もあるが、必ずしもこれに限定していない。

(iv) 学生が自ら研修成果を客観的に判断できるように、必要に応じて各種テストを実施している。

3. 研究活動について

(i) 本年度も、とくに共通課題を設定せず、各自が個別テーマを定め、各々の研究を推進した。

(ii) 研究部では、ここ数年、研究資料の充実に努力しており、本年度も多数の文献を購入した。